

T2R2 東京工業大学リサーチリポジトリ

Tokyo Tech Research Repository

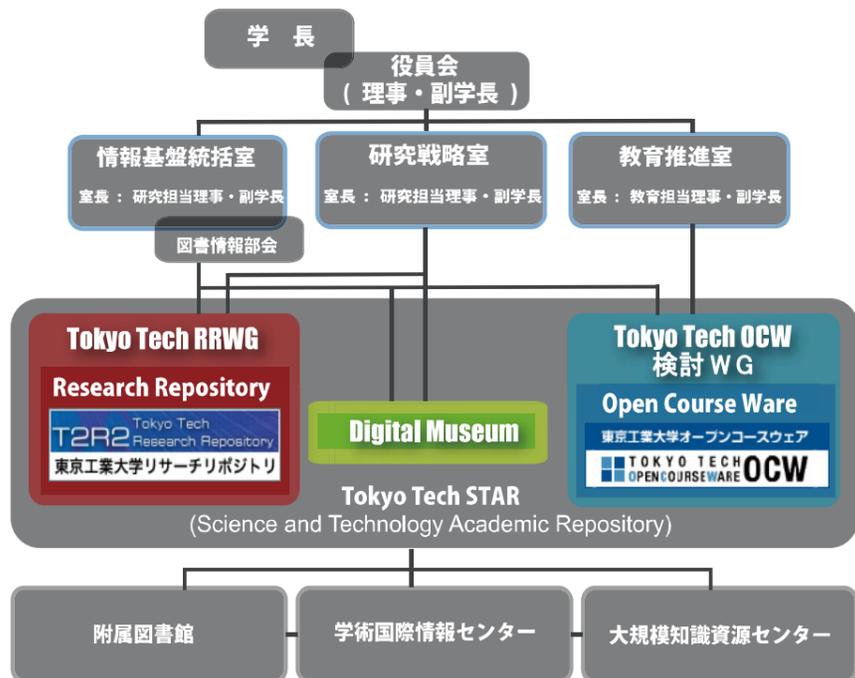
領域1:東京工業大学機関リポジトリの構築

東京工業大学の機関リポジトリは研究担当理事・副学長を主査とする「情報基盤統括室」のもと、学術論文に代表される学内研究成果の一元的蓄積・管理・発信を担うことを目的に、平成17年度から T2R2 (Tokyo Tech Research Repository) システムとして独自に開発を進め、平成19年8月に全学リリースしました。平成21年度には「入力支援機能及び出力機能の強化」「搭載コンテンツの拡充」「全文ファイル公開作業の簡便化」を図り、メタデータおよび全文ファイルの登録数は順調に増加しています。

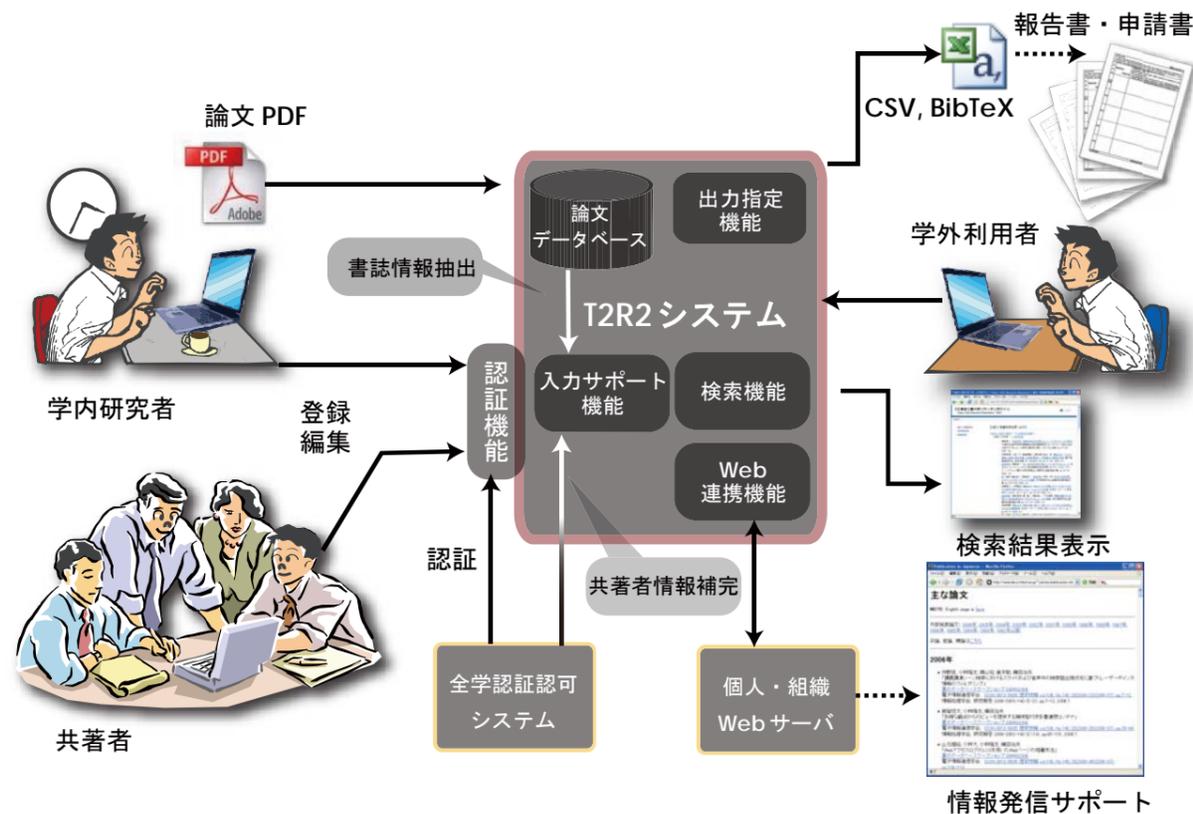
構築のコンセプト

- 学内研究コンテンツの一元的な蓄積・管理・発信
- 研究者自身によるデータ登録を前提に、多様な「入力支援機能」と「登録データの活用手段」を提供
 - PDFファイル／文献管理ソフトからのメタデータ取込み、学会サイトURLからの全文ファイル取得、研究者単位での相互リンクによるデータの共有、Webサービスによる業績リスト生成、科学研究費申請書／報告書生成、外部ページでの公開...
- 大学管理のサーバによるデータの永久的な保存
- 学内他システムとの連携
 - 学内研究者に関するDBを横断検索する“東京工業大学STARサーチ”システムとの連携(予定)...

学内体制



システム概念図



利用統計

データ登録数

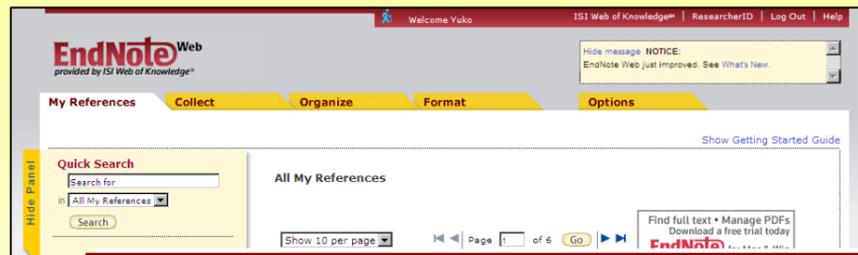
総登録数(～平成22年3月31日付)
 メタデータ 170,242 件
 全文ファイル 1,950 件

平成21年度登録数
 メタデータ 18,818 件
 全文ファイル 623 件

アクセス数(～平成22年3月31日付)

外部公開ページトップ 87,819 件
 外部公開ページ業績詳細画面 450,250 件
 内部登録ページ 620,537 件

メタデータ入力 / 全文ファイル取得支援機能の拡充 (平成21年度 CSI委託事業経費による開発)



文献管理ツールや学会サイトからのデータ取込
学会サイトからの全文ファイル取得支援
全文ファイル公開判定機能の改善(管理者)

業績情報のインポート

データの形式: EndNote / Reference Manager (RIS Format)

下のテキストファイルからインポート

C:\Documents and Settings\ [ユーザー名] \ [フォルダ] \ [ファイル名].ris

シフト JIS

下で指定したテキストからインポート

データの指定

タイトル: Comparison of replica assisting and speed adjustment for service-aware horizontal data migration on autonomous disks

著者名: Kobayashi Dai, Yokota Haruo

公開状態: 公開可

掲載誌名: Proceedings of IEEE International Conference on Digital Information Management, ICDIM

公開ポリシー: Green

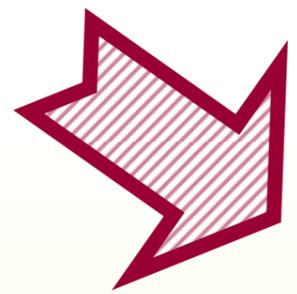
公開規則URL: <http://www.ieee.org/web/publications/rights/policies.html>
<http://www.ie.or.jp/ronbun/tebiki.pdf>

公開要件: Preprintの場合は出版者版が出たら差替・Preprintの場合はSet Phraseを表示・Preprintの場合はURLをIEEEに通知・Postprintの場合は著作権表示・Postprintの場合は出典表示・Postprintの場合は出版社版のみ可

コメント: 印刷と保存のみ可能な状態で公開しました (2010.06.09)。元のデータは「関連ドキュメント」に移動済みです (共著者に限り表示されます)。

管理者コメント:

更新日時	更新者	公開状態	コメント	管理者コメント
2010-06-09 16:25:30.569	T2R2TEST001	公開希望		



T2R2 東京工業大学リサーチリポジトリ
 Tokyo Tech Research Repository

Tokyo Tech Research Repository (T2R2) は、東京工業大学における教育・研究活動の産物である多様な知識資源を蓄積し、広く公開することにより、学内の学術研究論文等の蓄積・発信を行うことを目的としています。

Tool Box

- Home
- 各種検索
- 研究業績検索
 - 論文・著書検索 (詳細検索)
 - 特許検索 (詳細検索)
- 研究者検索
- 組織から絞り込む
- サポート
- よくあるご質問(FAQ)

研究業績検索

表題/書名/掲載誌名/発明の名称など

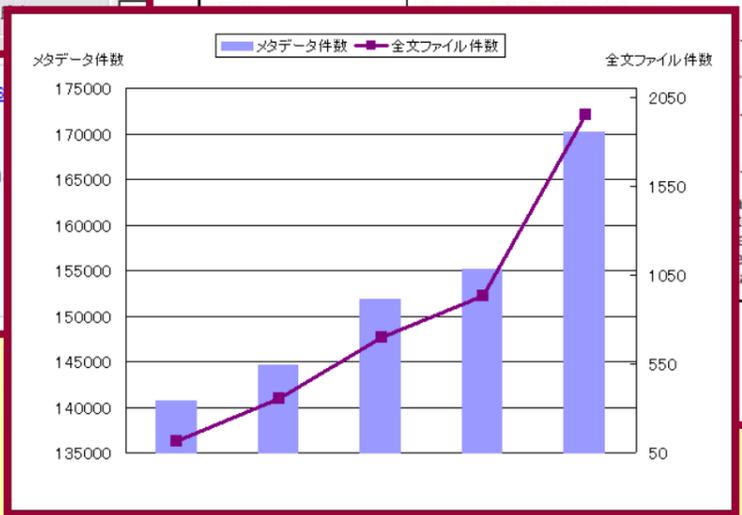
研究者名/発明者名など

対象年

論文 / 著書情報
 Article / Book Information

Title	Comparison of replica assisting and speed adjustment for service-aware horizontal data migration on autonomous disks
-------	--

[Comparison of replica assisting and speed adjustment for service-aware horizontal data migration on autonomous disks.](#)
 Kobayashi Dai, Yokota Haruo.
 Digital Information Management, 2007. ICDIM '07. 2nd International Conference on Digital Information Management. 査読あり. 海外. 論文 - 一般講演(口頭発表).
 Vol. 2. pp. 539-544.
 Jun 2007.



メタデータ・全文ファイル登録件数は着実に増加しています♪

コンテンツの拡充と質の向上・出力機能の拡充 (平成21年度その他の開発機能)

学内組織が発行するテクニカルレポート登録

特許データについて、研究者がT2R2システムのリンク機能を利用して各種の情報を追加

論文・著書情報の中の各著者は、当該研究者情報との関連付けが必要です。関連付けの方法等の詳細は、マニュアル およびヘルプ をご参照ください。

和文:
英文:

著者

表示	研究者	研究者ID	寄与区分	操作
和文 江太郎	工大太郎 Taro Kodai	CTT100506821	共著/分担	変更 削除

種別: **組織テクニカルレポート**

業績種別
国内/国際区分: ※種別が会議発表の時は必須です
発表種別: ※種別が会議発表の時は必須です

テクニカルレポート番号:

非公式URL:

学内関連組織: 学術国際情報センター / Global Scientific Information and Computing Center

関連プロジェクト:

組織情報：学術国際情報センター

所属研究者 研究業績一覧 **組織テクニカルレポート**

松岡聡
額田彰
飯田勝
渡邊寿
望月社
直井聡

横田治夫 研究業績一覧 (358件)

研究者情報 研究業績一覧

2010 (16) 2009 (13) 2008 (28) 2007 (32) 2006 (21)

論文

- Neila Ben Lakhal, Takashi Kobayashi, Haruo Yokota, Kazuki Takayama, Haruo Yokota, Diform Encrypted Backup Data, IEEE Pacific Rim International Symposium on Dependable Computing, pp. 151-158, Dec. 2009.
- Wenxin Liang, Akihiro Takahashi, Haruo Yokota, Method for Efficient Structural Information System, Database and Expert Systems Applications, Springer Berlin / Heidelberg, Sep. 2009.

著書

- Xiaofang Zhou, Haruo Yokota, Kazuki Takayama, Haruo Yokota, Diform Encrypted Backup Data (DASFAA 2009), Springer Berlin / Heidelberg, Sep. 2009.

国際会議発表 (査読有り)

Kazuki Takayama, Haruo Yokota, Diform Encrypted Backup Data, IEEE Pacific Rim International Symposium on Dependable Computing, pp. 151-158, Dec. 2009.

Wenxin Liang, Akihiro Takahashi, Haruo Yokota, Method for Efficient Structural Information System, Database and Expert Systems Applications, Springer Berlin / Heidelberg, Sep. 2009.

様式 C-24

平成〇〇年〇月〇日

科学研究費補助金による研究成果発表報告書

1. 機関番号:
2. 研究者番号:
3. 研究者番号:
4. 研究者代表名 (フリガナ): ()
5. 所属研究機関・部署・職:
6. 研究発表

[雑誌論文] 計 (1) 件 うち査読付論文 (1) 件

著者名	論文 標題	雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
Neila BenLakhal, Takashi Kobayashi, Haruo Yokota	FENECA: failure endurable nested-transaction based execution of composite web services with incorporated state analysis	The VLDB Journal	査読有り	Vol. 18, No. 1	2009	pp. 1-58

[学会発表] 計 (11) 件 うち招待講演 (0) 件

著者名	発表 標題	学会名等	発表年月日	発表場所
Kazuki Takayama, Haruo Yokota	Performance and Reliability of a Revocation Method Utilizing Encrypted Backup Data	IEEE Pacific Rim International Symposium on Dependable Computing 2009	2009/12/日付	Shanghai

組織が発行するテクニカルレポートを一覧表示

“会議発表論文”で、外部公開サイトでは“会議開催地の国内外”や“査読有無”の別により分けて表示

科学研究費申請書・実績報告書・研究成果報告書が容易に作成可能

科研費に係る提出物のうち、研究業績に関する書類については全てT2R2システムから出力可能！